



# *Gituitar Rig 5*



追加・補足マニュアル



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments”, “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Native Instruments GmbH

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 5.1 (01/2012)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

---

## Germany

Native Instruments GmbH  
Schlesische Str. 29-30  
D-10997 Berlin  
Germany  
[www.native-instruments.de](http://www.native-instruments.de)

## USA

Native Instruments North America, Inc.  
6725 Sunset Boulevard  
5th Floor  
Los Angeles, CA 90028  
USA  
[www.native-instruments.com](http://www.native-instruments.com)



© Native Instruments GmbH, 2012. 無断複写・転載を禁じます。

---

---

## 目次

1	GUITAR RIG 5.1 の新機能について .....	5
2	新規 Favorites 機能 .....	7
3	名称の変更 .....	10
4	新規 SplitMS コンポーネント .....	12
5	Preferences Pane の新規ショートカット .....	14
6	GR4 Mode スイッチ .....	16
7	新規 Demo モード .....	17

# 1 GUITAR RIG 5.1 の新機能について

この追加マニュアルでは MASCHINE 5.1 の各新機能とアップデートの各内容について解説します。

- 新機能 Favorites によって GUITAR RIG の好みのコンポーネントをまとめることが可能となりました。  
↑2, [新規 Favorites 機能](#) を参照してください。
- GUITAR RIG Sounds はこのアップデートから Presets と呼ぶことにします。↑3, [名称の変更](#) を参照してください。
- 新規 SplitMS コンポーネントをツールボックスに追加しました。↑4, [新規 SplitMS コンポーネント](#) を参照してください。
- Preferences ペインに File メニューを追加しました。↑5, [Preferences Pane の新規ショートカット](#) を参照してください。
- 選択したアンプモデルに対して使用可能な Guitar Rig 4 sound legacy モードも追加しました。↑6, [GR4 Mode スイッチ](#) を参照してください。
- このバージョンから新方式の Demo Mode を採用しています。↑7, [新規 Demo モード](#) を参照してください。

## その他の資料について

基本的な GUITAR RIG の使用方法に関しては、GUITAR RIG 資料に含まれる以下の各資料を参照してください。

- **Getting Started** では GUITAR RIG の主な機能内容を紹介します。
- アプリケーションリファレンスでは GUITAR RIG ソフトウェアの各操作方法を解説しています。
- **Components Reference** では GUITAR RIG に含まれる全アンプモデル、エフェクト、その他のコンポーネントについて解説しています。
- **RIG KONTROL 3 Manual** では RIG KONTROL 3 ハードウェアについて解説しています。

## 追加マニュアル内の注釈について

本追加マニュアルでは、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容を区別しています。



このアイコンの後に表記してある内容には、必ず従ってください。



この電球アイコンでは有効なヒントとなる内容を記載してあります。ここではしばしば機能をより効率よく使用するための解決策が記載されていますが、必ずこれを実行しなければならないという内容ではありません。作業効率を図るためには一度確認しておくことをお勧めします。

---

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- 各メニューで表示される内容(*Open*…、*Save as*…等) 及び、ハードドライブ、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
  - その他の場所で表示されるテキスト(ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は**ライトブルー**で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをスクリーン上で確認できるはずですが。
  - 重要な名称とコンセプトはボールド体で表示しています。
  - コンピュータのキーボード上で操作する場合はそれらのキーワードを括弧で示します (例、「[Shift] + [Return]」)。
- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えてあります。  
→ 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

## 2 新規 Favorites 機能

今バージョンから各コンポーネントを右クリックすることで **Add to Favorites** 機能を使用することができます。この機能により簡単に **Categories** 内で新規 **Favorites** セクションにコンポーネントを追加することが可能となり、その結果気に入ったコンポーネントへの素早いアクセスが可能となります。設定方法は以下です。

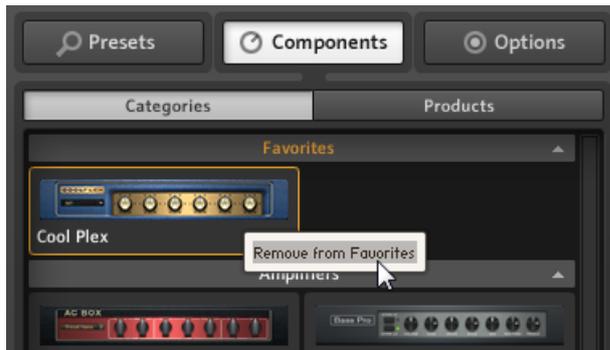
1. コンポーネントを右クリックして **Add to Favorites** をクリックします。



2. この操作によってコンポーネントが **Categories** の **Favorites** セクションに表示されます。



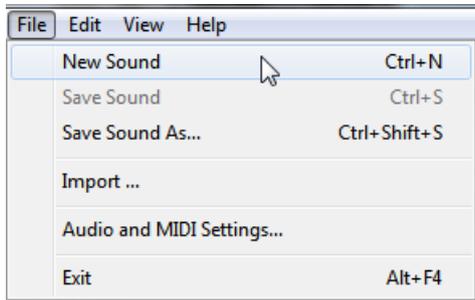
3. Favorites セクションからコンポーネントを削除するにはもう一度右クリックして [Remove from Favorites](#) をクリックします。



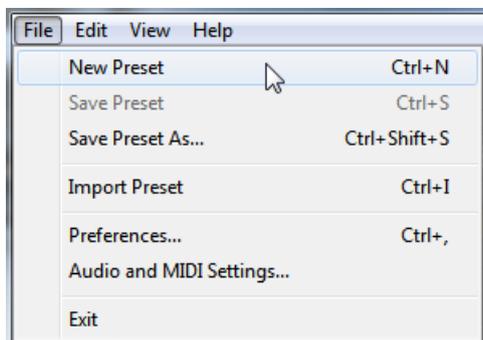
Categories の他のセクションからドラッグアンドドロップでコンポーネントを追加することも可能です。

### 3 名称の変更

今バージョンでは GUITAR RIG の各名称について重要な変更を実施しており、これまで **Sound** と呼んでいたエントリーは **Preset** と呼ぶこととしました。これらの呼称はユーザーインターフェイスとファイルメニューに反映されます。

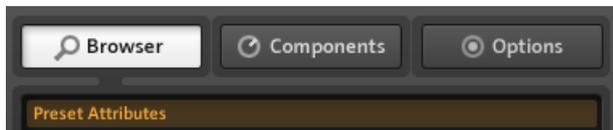


File メニューの以前の Sound エントリーです。

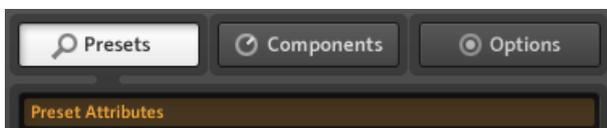


このエントリーは Presets と呼ぶことになりました。

また SideKick にある Browser タブは今バージョンから **Presets** と呼ぶこととします。



以前まで Browser タブと呼んでいたエントリーは、



Presets と呼ぶこととしました。

## 4 新規 SplitMS コンポーネント

Tools セクションに設置した新規コンポーネントでステレオ信号をミッドとサイドの 2 つに分け、これらの信号を個別に編集することが可能となりました。



SplitMS のユーザーインターフェイスです。

### Split の使用

SplitMS には MID、SIDE と M/S BALANCE の 3 つのモジュールがあります。入力信号は 2 つの信号に別れ、それぞれ平行に MID と SIDE モジュールを通過し、M/S BALANCE モジュールでミックスされます。

▶ 個別の信号パスにコンポーネントを追加するにはラック内の MID または SIDE モジュールにコンポーネントをドラッグします。MIDSIDE

各セクションで完全に独立したラックを作成、または現在使用しているラックに 2 つのエフェクト経路を追加することも可能です。SplitMS で 2 つの信号チェーンをまとめます。

### コントロール

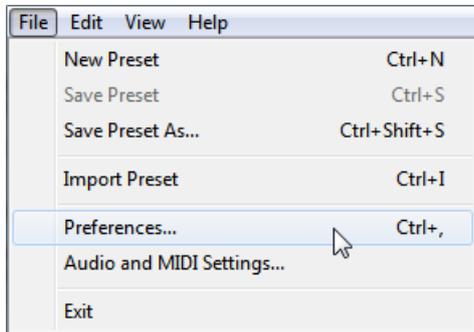
- M/S BALANCE モジュールの真ん中にあるクロスフェーダーで各信号チェーンをミックスします。左いっぱいに戻すと、mid 信号が主に聞こえ、右いっぱいに戻すと side 信号が主に聞こえます。
- RANGE パラメーターで信号の減衰値を 6 から 24 dB の設定値で詳細設定することが可能です。
- SOLO ボタンで mid のみ、または side のみの信号を聞くことが可能です。これまでに M/S ステレオを体験したことがない方はステレオ信号を SplitMS に通してこれら 2 つのボタンのみを試してください。MID SOLO によってステレオフィールドのセンター部分の音声を確認、SIDE SOLO ボタンでステレオフィールド内の左右の音声を確認することが可能です。



では他のコンポーネントを追加し、サウンドを強調してみましょう。例えばセンターの音声にコンプレッサーを追加 (キックとベース用) し、可聴範囲外に近い低音をカット、またサイドにリバーブ等を追加します。

## 5 Preferences Pane の新規ショートカット

File メニューに **Preferences** エントリーを追加し、**Options** タブの **Preferences** セクションに素早く移動することが可能となりました。



GUITAR RIG のファイルメニューにある Preferences エントリーです。



これで SideKick 内の Options タブにある Preferences セクションに直接移動することが可能となります。

## MAC OS X のみ

File メニューの Audio and MIDI Settings... からのオーディオ設定が可能となりました。

## 6 GR4 Mode スイッチ

GR4 Mode スイッチを Tweedman、Lead800、Plex、Bass Amp Pro の各コンポーネントに追加し、旧バージョンのプリセットに対応します。



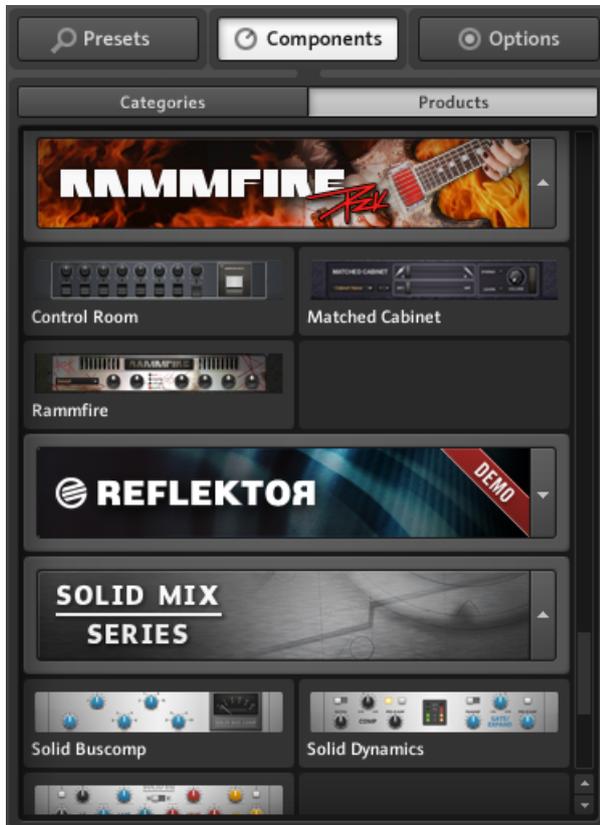
PLEX コンポーネントの右下にある GR4 Mode スイッチです。

このスイッチを有効にすることで GUITAR RIG 4 のアンプモデリングをロードします。前バージョンでは解決できなかったバグを今バージョン 5.1 で解決、旧プロジェクトと比べると異なっていたサウンドの問題を解消しました。このスイッチによって旧バージョンのサウンドを忠実に再現します。

-  GUITAR RIG 5.1 より以前のバージョンの GUITAR RIG によって作成されたプリセットは GR4 Mode スイッチが自動的に起動した状態でロードされます。
-  上記したアンプをラックにドラッグ、または新規プリセットをロードすると、GR4 Mode スイッチが無効の状態のコンポーネントをロードします。
-  音声の変化は Presence ノブ (Guitar Amps) にも反映され、Bass Amp Pro を使用している場合は、ヘッダの Lo から Hi モードに切り替える際にサウンドの変化を確認できます。

## 7 新規 Demo モード

新規 Demo モードを今バージョン 5.1 から採用しています。新規コンポーネントをシステムにインストール、製品登録しない状態で使用すると、コンポーネントは [Components](#) タブの [Products](#) セクションに DEMO バッジがついた状態で表示されます。



Products セクションの未登録の REFLEKTOR コンポーネントです。



デモコンポーネントは [Products](#) セクションのみで表示されます。 [Categories](#) セクションにこのコンポーネントは表示されません。

ラックにでもコンポーネントをドラッグアンドドロップする際には、GUITAR RIG はコンポーネントをデモモードで起動するかといった趣旨の質問を表示します。



Demo モード起動ダイアログです。

Demo モードを起動した後、ソフトウェアヘッダの GUITAR RIG ログでは DEMO であることを拡張子表示します。



デモモードの GUITAR RIG です。

以下は OK を押した場合です。

- 30 分のデモタイマーが作動し、登録していないコンポーネントの使用時間が制限されます。
- ラックからコンポーネントを削除すると、タイマーが停止します。ラックにコンポーネントをサイド起動すると、前回使用した時間を含めてタイマーが再び作動します。
- 30 分使用すると、GUITAR RIG を再起動しない限りこのデモコンポーネントを使用することができなくなります。GUITAR RIG を再起動すると、このデモタイマーはもう一度 30 分カウントします。



デモエフェクト/モジュールを使用したプリセットを保存することはできるので、デモとして使用している際のインスピレーションを失うことはありません。プリセットは赤く表示され、ライブラリに追加されます。使用していたエフェクト/モジュールを購入、製品起動することで再びこれらを開くことが可能となります。



デモコンポーネントを追加した状態で古いセッションを再保存する場合新規名称で保存されるので、古いセッションを開く為だけに新規コンポーネントを購入するといった問題の回避となります。



注、デモモードのエフェクトとモジュールは上記した内容を除いて制限無く使用できます。しかしながらフルバージョンの追加内容の欠如により、機能内容が制限される場合があります。例えばデモモードでは REFLEKTOR の Impulse Responses (IRs) の選択肢はフルバージョンと比べて制限されています (フルバージョンでは約 350 の IR を使用可能)。



プラグインの GUITAR RIG をデモモードで使用する場合、セッションをホストで保存することは可能ですが、コンポーネントの購入、製品起動なくしてホストソフトウェアがデモコンポーネントの設定内容を完全再現することはありません。